

中長期の環境認識（機会とリスク）



エレクトロニクス領域の拡大

- 5Gのインフラ構築が進み、IoTの広がりやデバイスの多様化など、通信市場の拡大が続く
- 自動車の電装化、自動運転化が進むとともに、自動車のあり方が大きく変化していく
- ▶ こうした変化にともない、業界構造やお客様の定義が大きく変化する
- ▶ 多様化するニーズに応えるためのインテリジェンス機能の強化と継続的な技術イノベーションが求められる

地政学的リスクの高まり

- 米中デカップリングが進み、経営における重要な前提条件になる
- 環境や人権対応などグローバルでの潮流と地域での経済政策の結合が新たな規制につながる
- 中華圏同業の躍進にともない、世界のイニシアティブを取る戦いが激化する
- ▶ モノづくりやサプライチェーンの抜本改革が進む

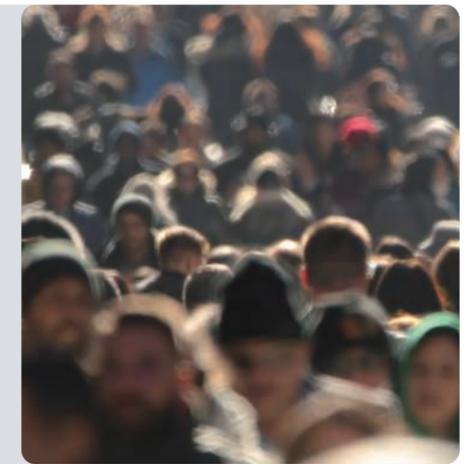


持続可能社会への転換

- 持続可能社会への転換が世界の共通認識となり、企業に対するステークホルダーからの要請や期待が高まる
- 環境対策への意識の高まり、環境規制が強化される
- 経済価値とともに、社会価値も高めていくことが強く求められていく
- ▶ 持続可能なオペレーションの追求は、今後競争優位の源泉になっていく

人口構造やパワーバランスの変化

- 先進国では人口が減少する一方、新興国では大幅に増加し、世界の人口構造が変化していく
- 特にインドの経済成長が本格化し、国際社会の仕組みが変わっていくことが想定される
- 先進諸国は高齢化にともなう諸課題に直面。健康の価値が高まる
- ▶ 超長期を見据えた備えの視点がより重要となる



デジタル化の進展

- ビッグデータや5G、ローカル5Gなどの活用が進み、モノづくりを中心に事業活動そのものが革新していく
- 外部とのコミュニケーション手段が多様化。接点の多くがデジタル空間へとシフトしていく
- ▶ お客様や同業他社のデジタル化のスピードが加速し、対応の巧拙が競争力を左右する

ポストコロナ社会への対応

- あらゆる場面でリアル（対面）とオンライン（非対面）の融合が進む
- 働き方や働く場所に対する価値観の変化が進む
- 調達、生産、物流など企業活動の多様化、分散化が進む
- ▶ 働き方の変化や外部接点における多様性の追求が、仕事の質、生産性、競争力の向上につながっていく

